

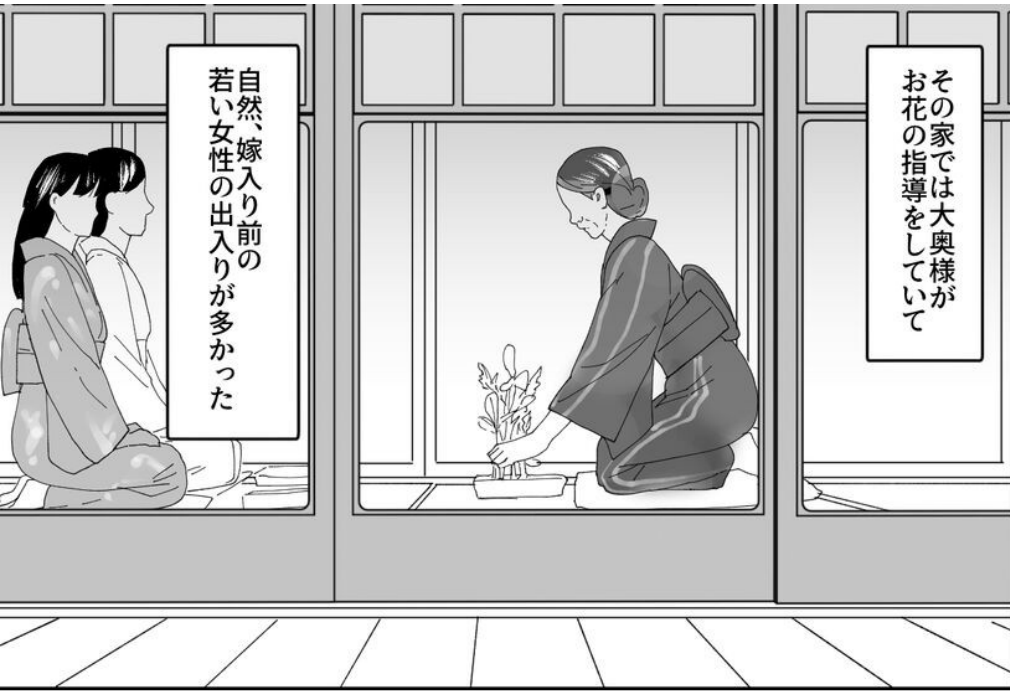


今となつては昔  
昭和の頃

若い時ある大きな家の  
下働きとして  
働いていた事がある

その家では大奥様が  
お花の指導をしていて

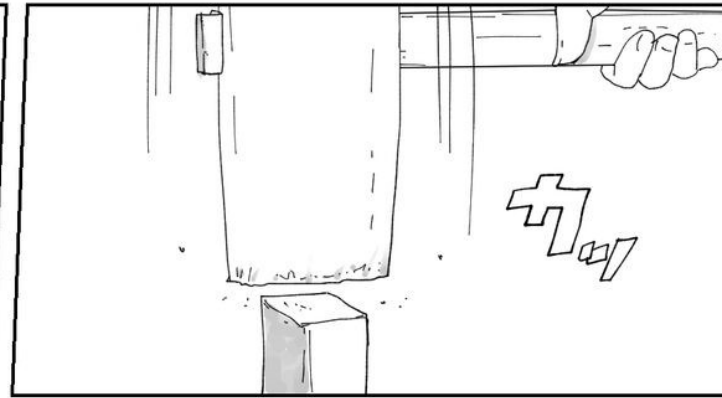
自然、嫁入り前の  
若い女性の出入りが多かった



奥様が  
お呼びですよー



この女性は富美子さん  
主に大奥様の身の回りの世話  
をする仕事をしていた



敷地に柵を作る作業  
思つたより手間だな



ふー

武田さん

あ  
富美子さん



とても可愛らしい女性で  
事あるごとに私を気にかけて  
くれる

お疲れ様です  
毎日大変ですね

奥様は  
なんの御用でしょうか

さあ……  
分かりませんが  
なにか急いでらっしゃる  
ようでしたよ

富美子さんの大きな尻が  
ぶりぶり揺れる……  
たまらない

奥様に汲み取りが  
来ているから対応しようと  
言われた

しかし便所には  
誰もおらず  
入れ違いになたようだ

好き……というほどではないが  
なんとなく思いを  
寄せている女性だ

その時  
少し空いた  
汲取り口を見て  
邪な考えがよぎった

中に潜めば  
女の股間が  
拝めるかもしれないと

明らかにこちらら…  
便所に向かって来る

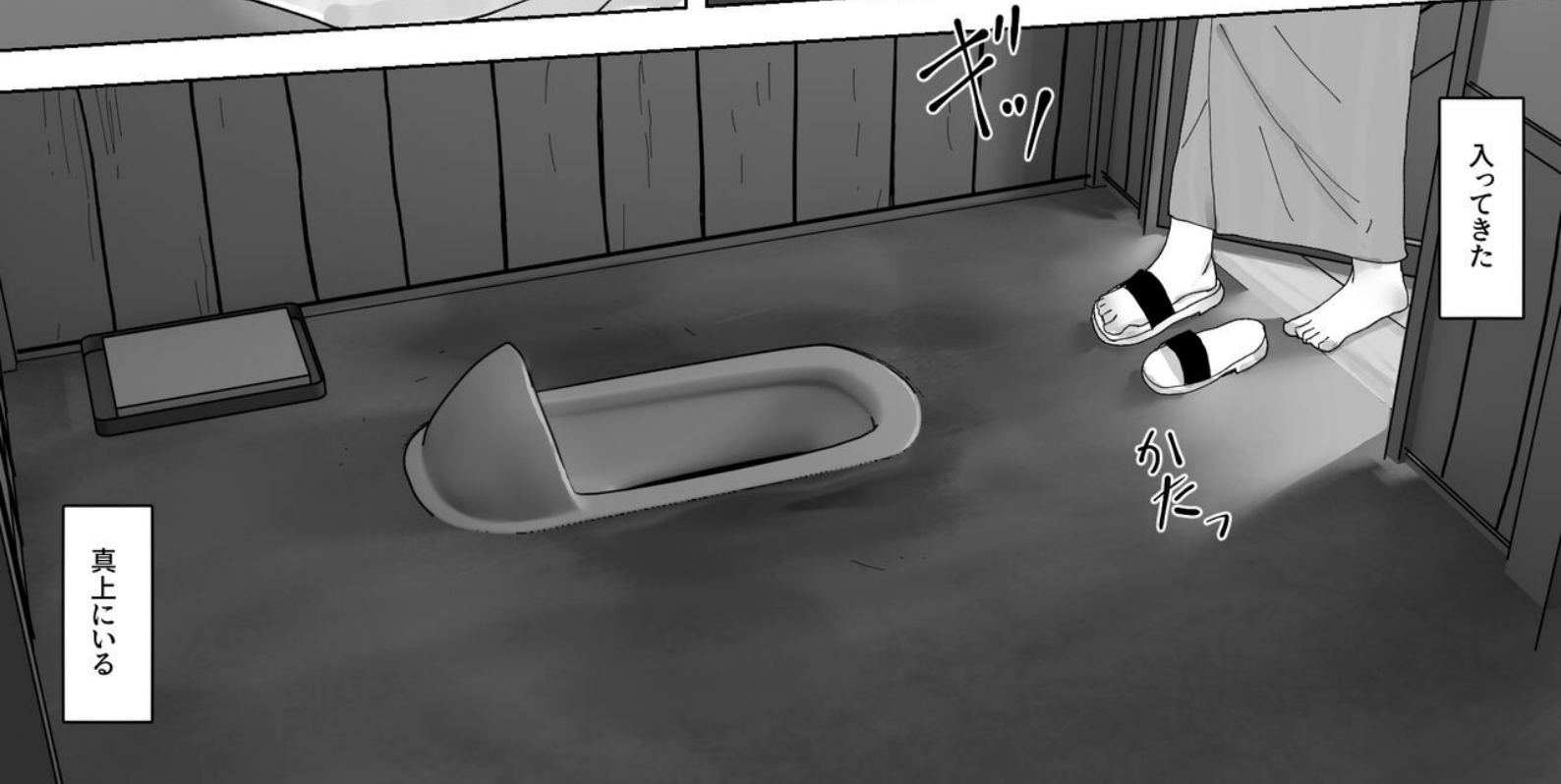
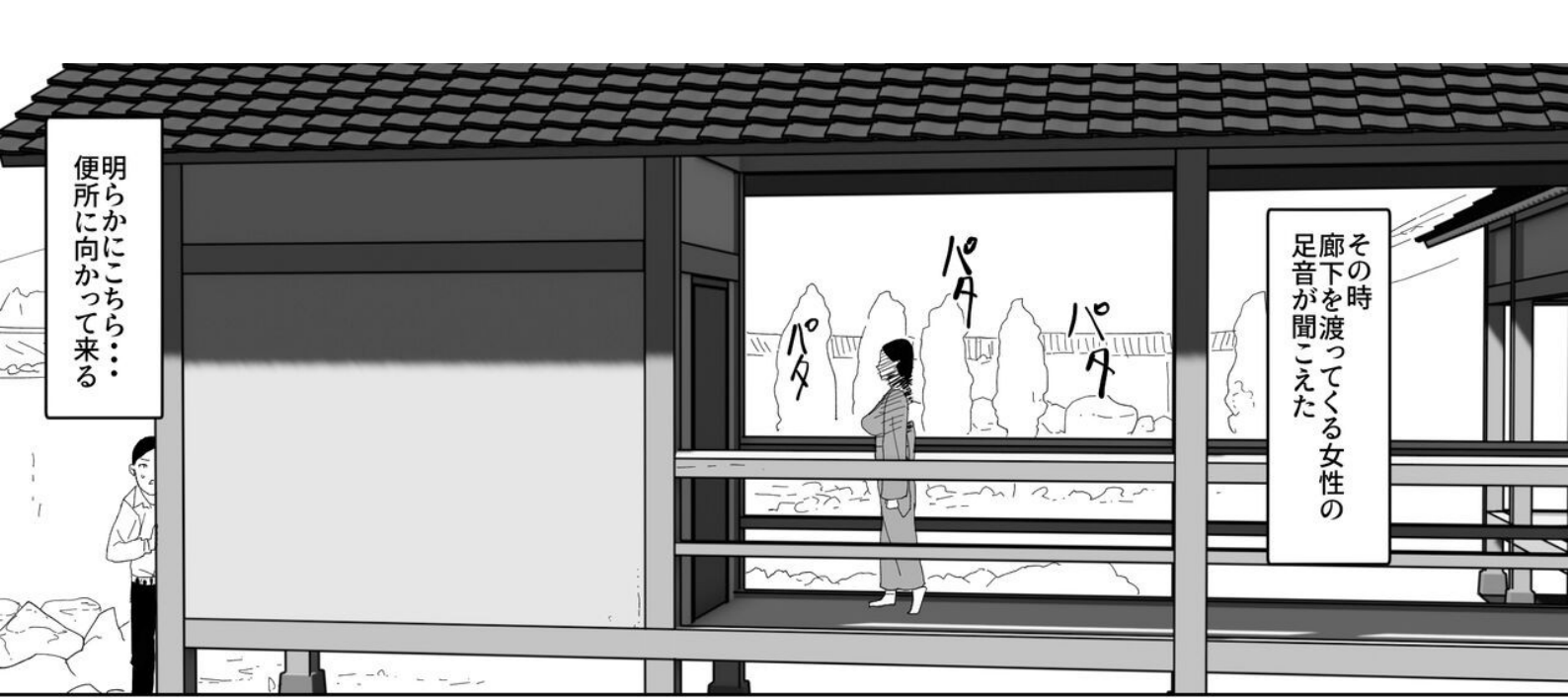
その時  
廊下を渡ってくる女性の  
足音が聞こえた

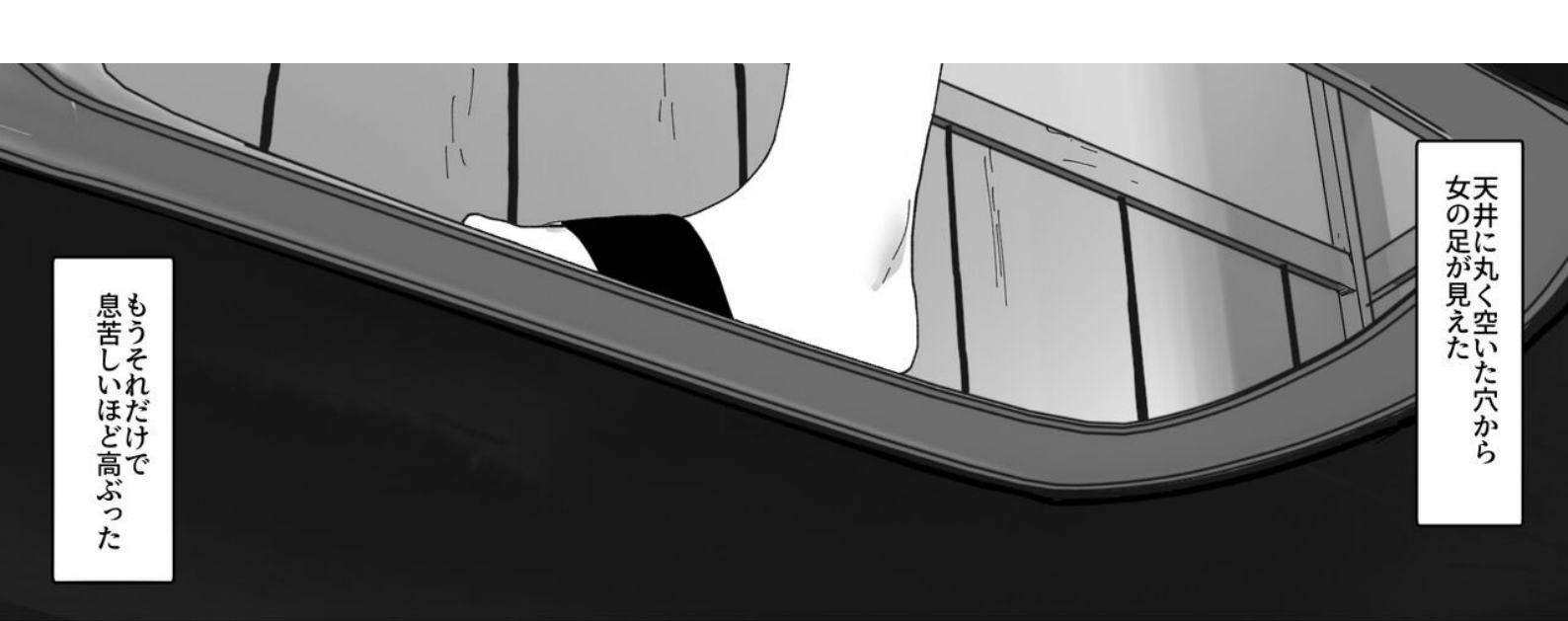
大きくなる女の足音  
開く扉の音

考えるより先に  
汲取口から  
便所に潜り込んでいた

入ってきた


真上にいる





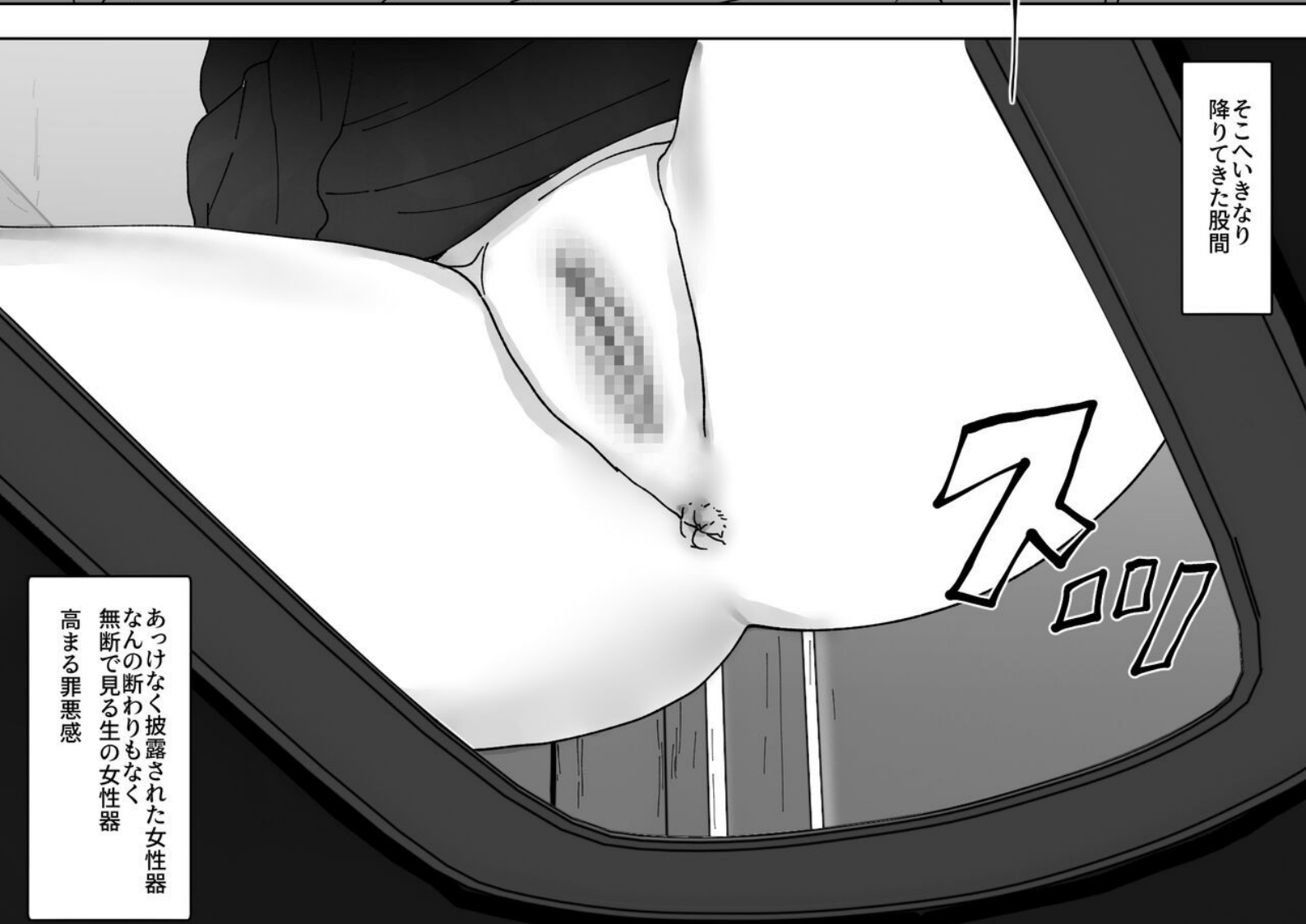
天井に丸く空いた穴から  
女の足が見えた

もうそれだけで  
息苦しいほど高ぶった



衣擦れの音

これからどうなるか  
考えるまでもない



そこへいきなり  
降りてきた股間

あっけなく披露された女性器  
なんの断わりもなく  
無断で見る生の女性器  
高まる罪悪感

チヨロと音を立てて  
女の股から液体がこぼれた

目の前で女が  
下半身を露出して  
排泄している

しょ 小便だ!

女は安心してきって  
放尿している

誰にも見せない  
個室の秘密を私は  
覗きという卑劣な手段で  
目の前にしている

小便臭い!

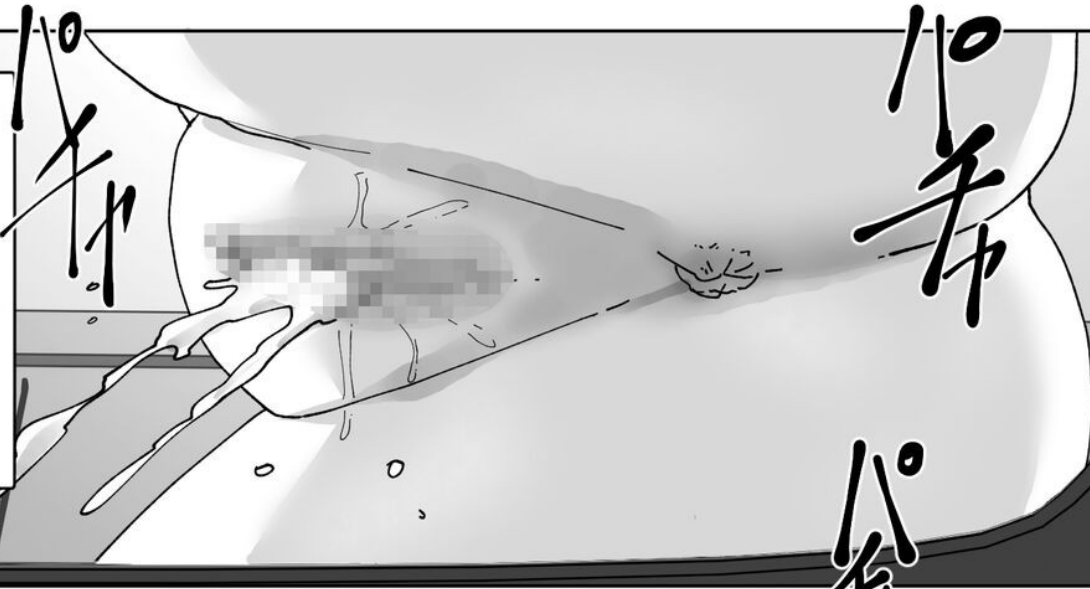
蒸気とともに  
しっかりと尿臭が  
漂ってくる

この尿は  
誰が出しているのだろうか



排泄の主を確かめたいが  
下手に近づくと小便が  
かかりそうだった  
なにより女に見つか  
るかもしれない

排泄物や不潔な匂いは  
全く気にならなかつた



初めてみる女性器と  
肛門は  
ただただ輝いて  
魅力的に見えた

夢中になるあまり  
近づきすぎた



小便を浴びながら  
一心不乱に女の股間を  
凝視する



富美子さんだ!

覗いてたのは  
富美子さんの性器!



あ!  
あの着物柄は  
……!



と……



秘密を覗いた高揚に  
呆然としていた

静江さん……

去っていく  
足音を聞きながら

ぱた

黄色い小便を  
吹き出す陰唇



あられもなく  
股を広げる姿

それ以来、  
しばらく富美子さんの顔を  
直視できなかった

と、富美子さん  
……!

ビクッ

後ろめたかった

あら、武田さん

え、あの

し、失礼します

お花の師匠の大奥様と  
近隣の女性たち

稽古終わりに  
お茶を飲み  
世間話などに  
興じる時間がある

こんな時は  
便所の利用が  
頻繁になった

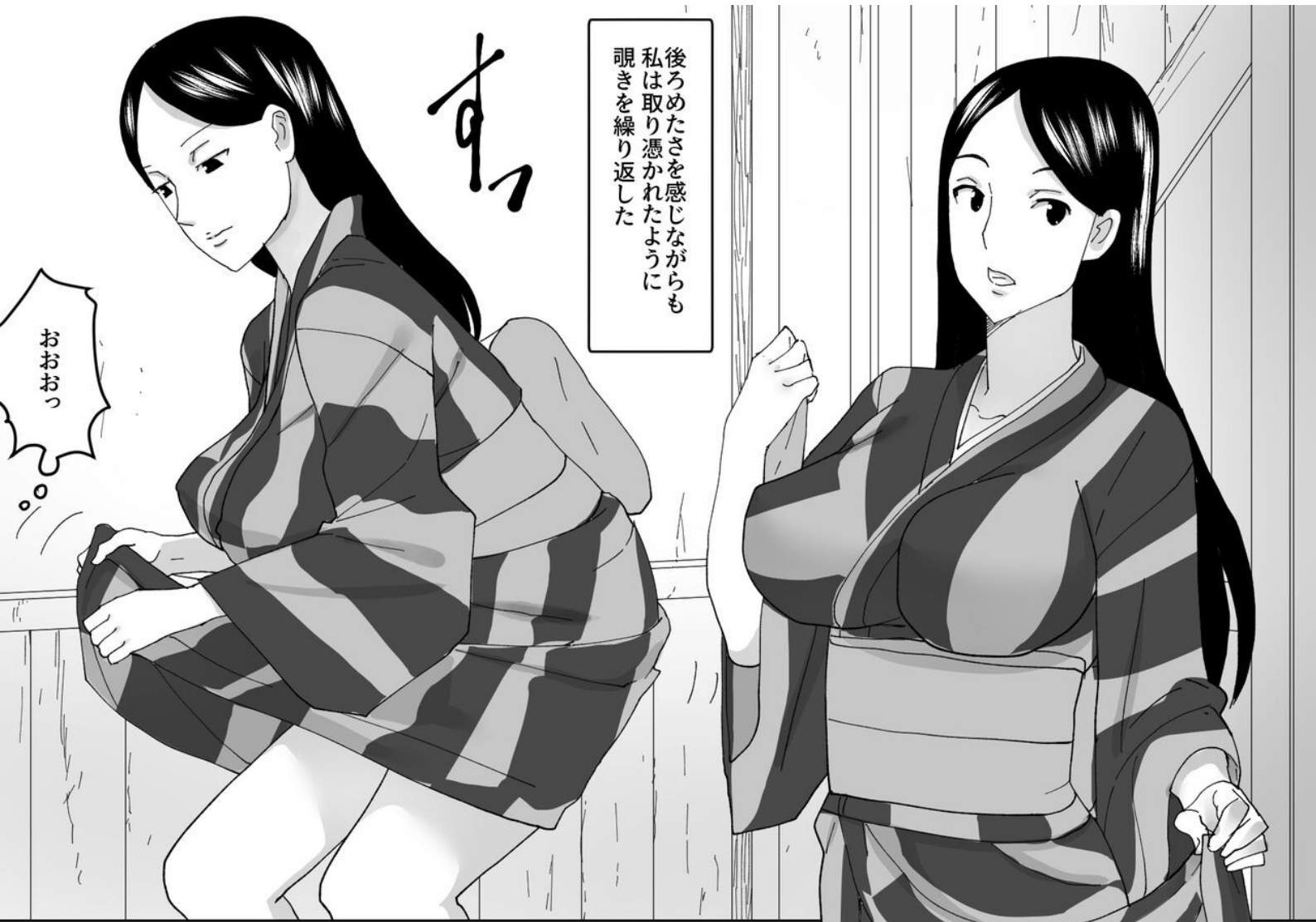
この便所は習い事に来る  
子女専用で建て増し  
されたものだった

待っているだけで  
獲物が向こうからやってくる

立て続けに  
いろんな女の股間が  
拝み放題だ

なので覗く若い女  
には事欠かなかった

時に順番待ちの列が  
できるほど



後ろめたさを感じながらも  
私は取り憑かれたように  
覗きを繰り返した

おおおっ



密室で行われる  
女の秘密を覗くことに  
この上ない興奮を感じた

はあ

はあ

はあ



勢いのいい小便は  
シャツと音を立てて  
降り注ぐ

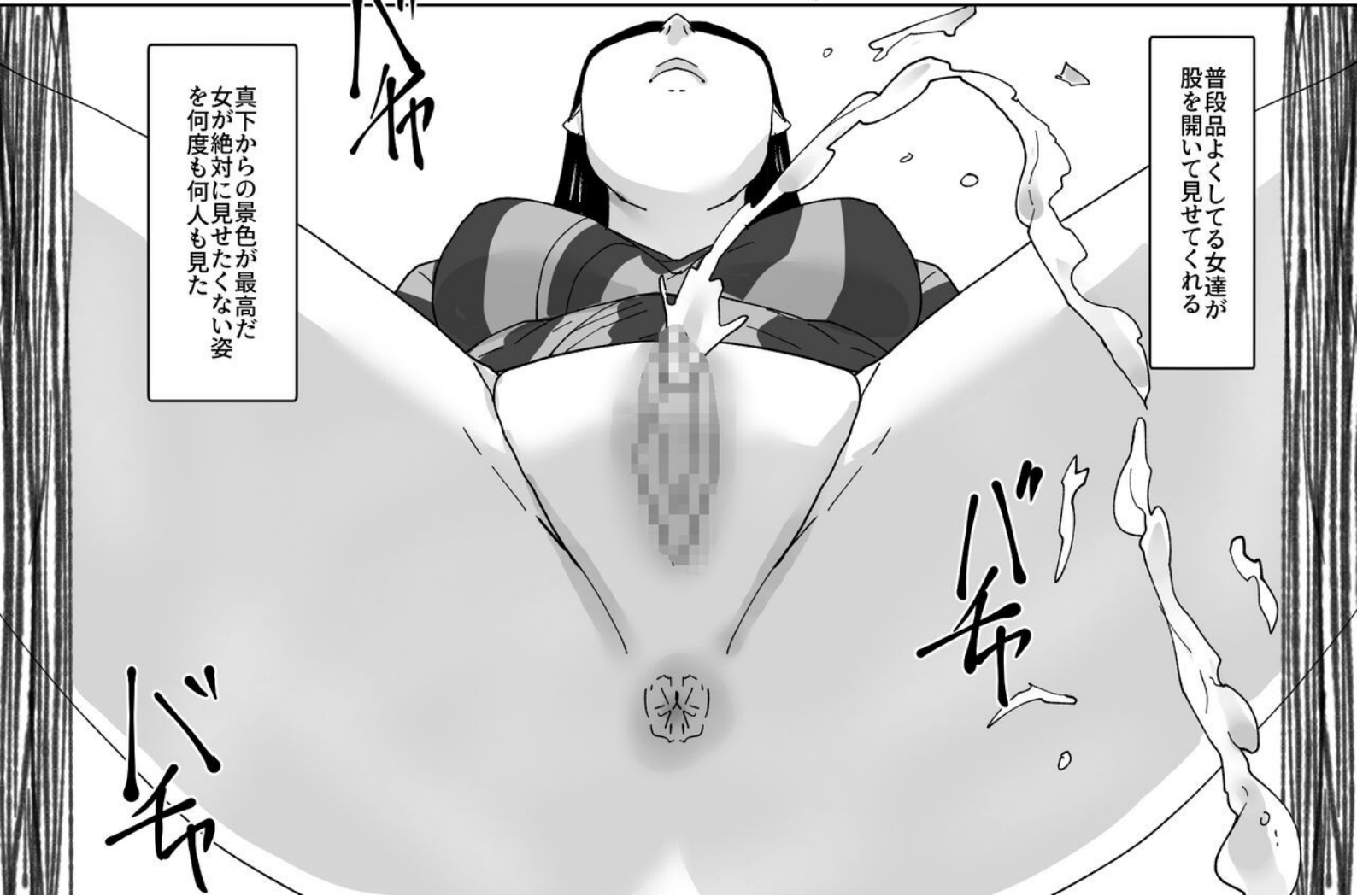
時に細く  
時に大量に

股の力を抜いた  
瞬間、ほとぼしる小便



便器を跨いで  
腰を下ろす女

シヨロ



真下からの景色が最高だ  
女が絶対に見せたくない姿  
を何度も何人も見た

普段品よくしてる女達が  
股を開いて見せてくれる

バク

バク

初めは尿に濡れないように  
注意を払っていた

しかし女性器を間近で覗くことに  
夢中になり過ぎ

ハヤ

ハヤ

ハヤ

ハヤ

ハヤ

次第に女性の尿をかぶることに  
頓着しなくなっていた

日に何人もの小便をかぶり  
自分の衣服が強烈な悪臭を  
放つこともあった

ハヤ

ハヤ

ハヤ

ハヤ





まだ小さい時から知っている娘の便所を覗き見る

小さかった子が立派な女になったのを確認できた



この子は隣の家の娘さん

汚さないように裾をまくり腹に抱える



他所の家の娘の成長を間近で確認できる嬉しさよ



控えめで桃色の陰唇に小さい作りだ門

パキ

パキ

パキ

パキ



まさかこんな形で  
再会できるとは

相変わらず美しい顔だ  
感動



隣村のゆかり  
このへんでは美人で有名

悪友と連れ立って  
顔を見に行ったことがある



まさか  
ゆかりの股間を  
拝めるなんて...

今見た景色を  
死ぬまで忘れまい



真っ黄色の小便  
匂いは生臭く強い

厚目の陰唇に  
控えめの肛門





やっと

やっと再び  
富美子さんの便所に  
巡り会えた!



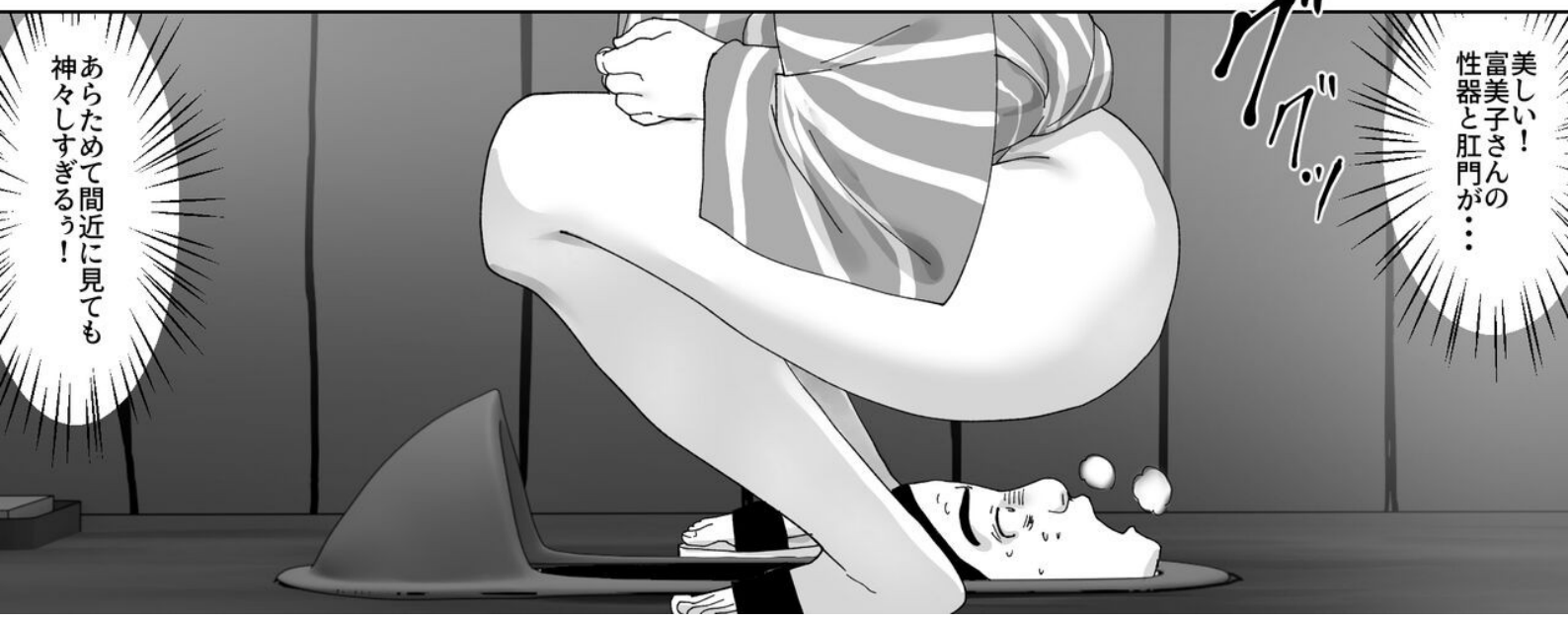
と...

富美子さん!



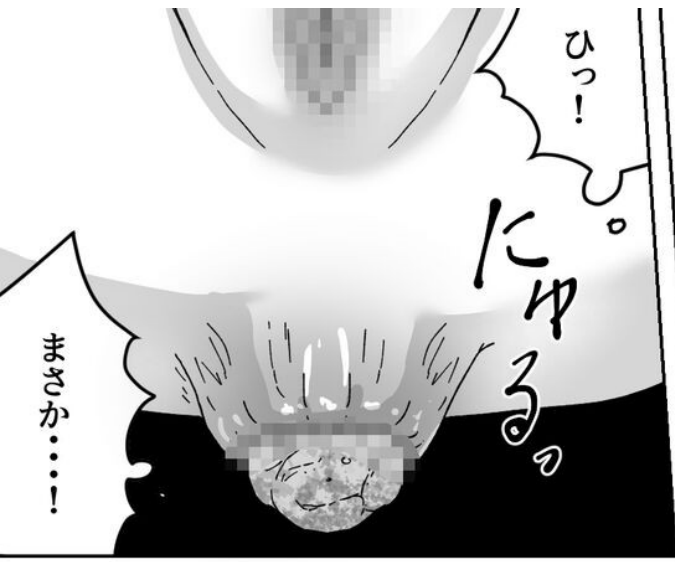
迷わず  
股を広げてくれる

女のものが  
前も後ろも



美しい!  
富美子さんの  
性器と肛門が...

あらためて間近に見ても  
神々すぎるう!



まどか……!

ひっ!

にゅるるる



何だ?  
肛門が膨らんできた

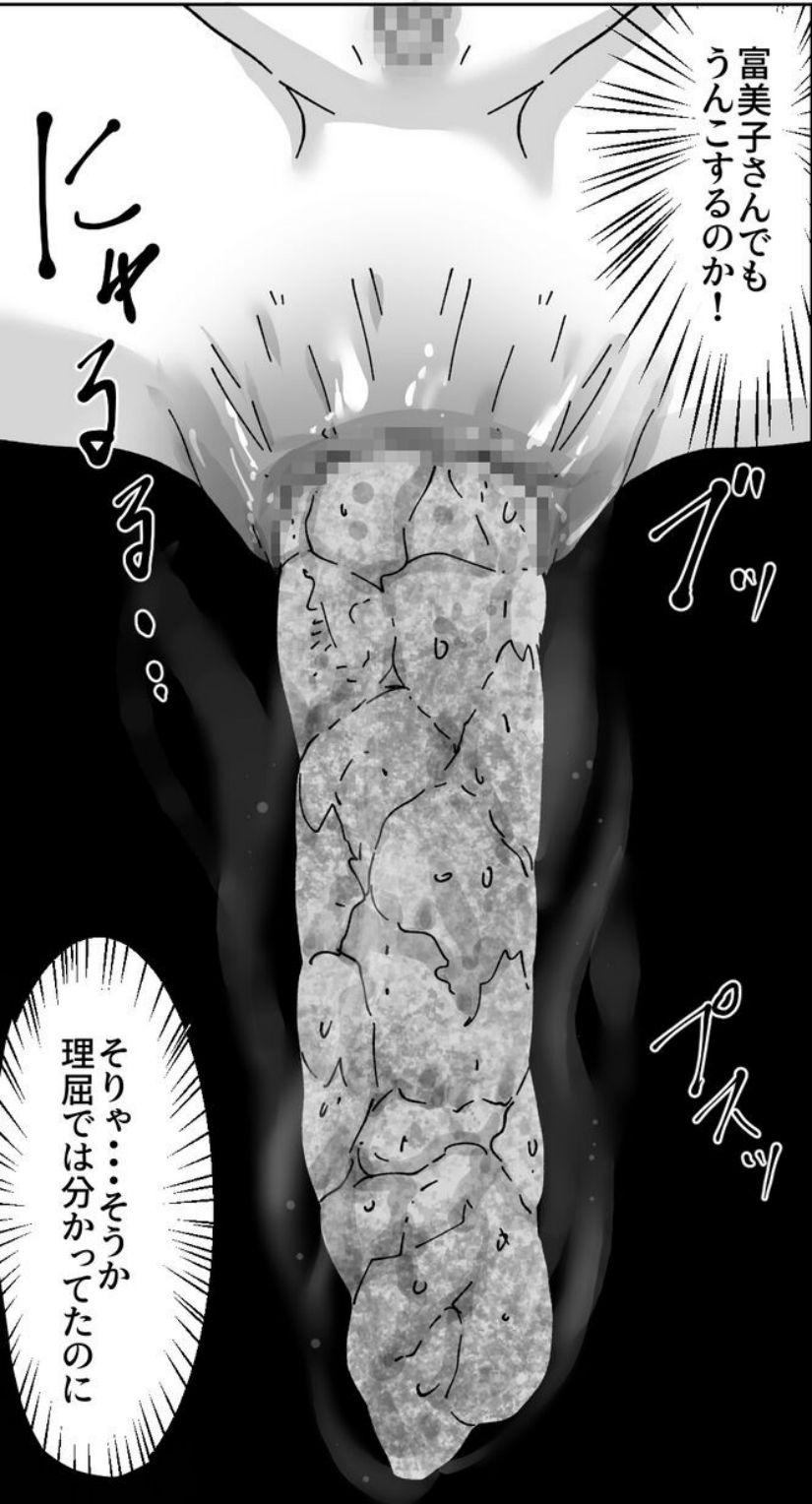
ぷくっ



はあ

はあ

あああつ  
たまらん!



富美子さんでも  
うんこするののか!

にゅるるる

ん

ん

そりゃ……そうか  
理屈では分かってたのに



うん……

うんこだあ!

ん

ん



ぶっ……!  
糞が顔の上に乗った!

ピャッ  
ピャッ

にゆるん

おええええつぷ  
吐き気がっ!



富美子さんの性器が見たい!  
でもウンコが邪魔……

ギョッ

ぐううっ  
気を許したら悲鳴を  
上げて気絶しそうだ

いかに富美子さんの  
ものとはいえウンコは  
勘弁してくれっ

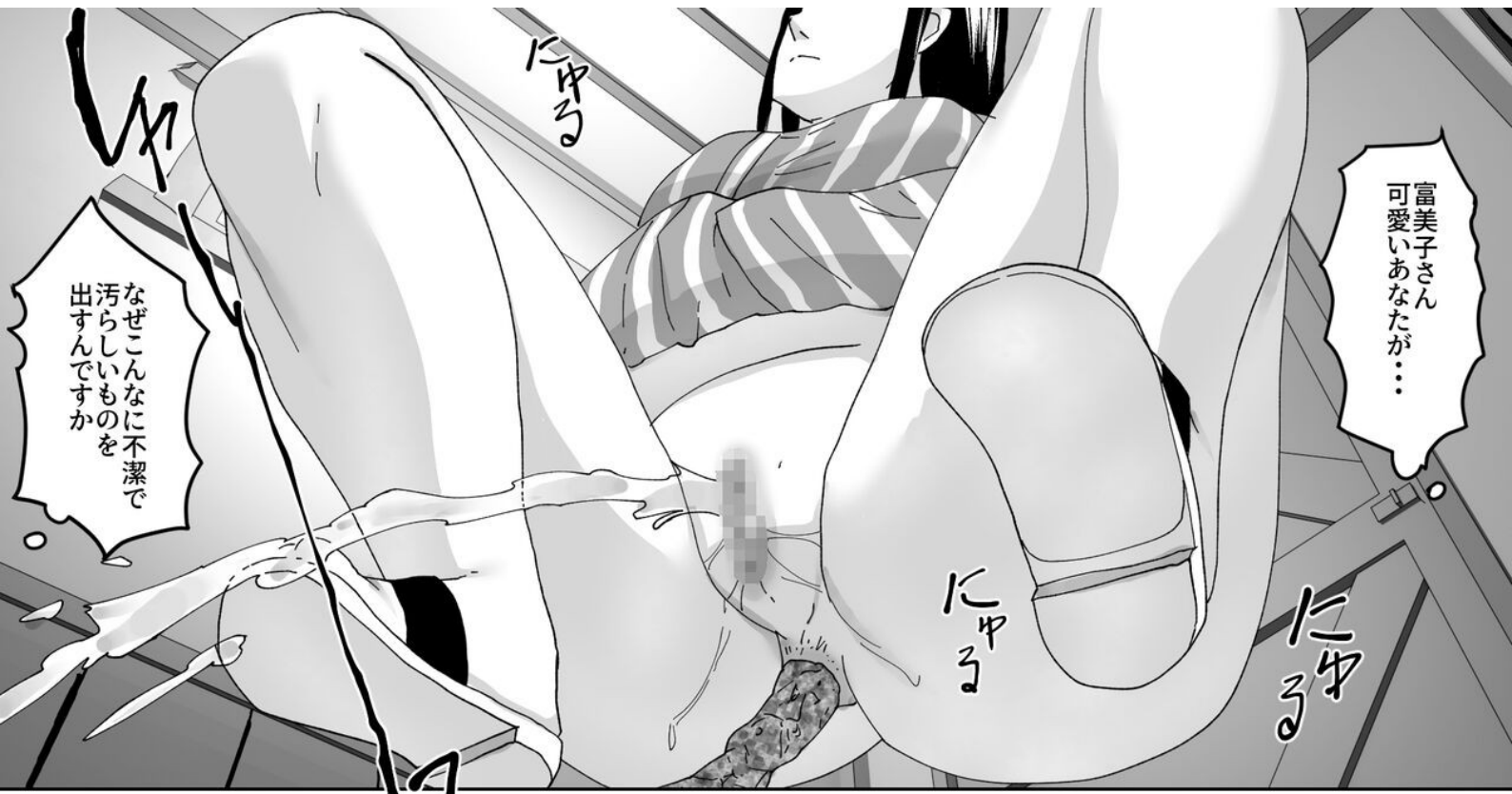
ぐうううううっ  
くさいらしい!  
助けてくれえええ!



ギョッ  
ギョッ

ギョッ

ギョッ  
ギョッ  
ギョッ



富美子さん  
可愛いあなたが…

なぜこんなに不潔で  
汚らしいものを  
出すんですか



紙で肛門の汚れを  
ぬぐう富美子さん

手慣れた動作



初めて口をつけた  
ウンコはにかかった

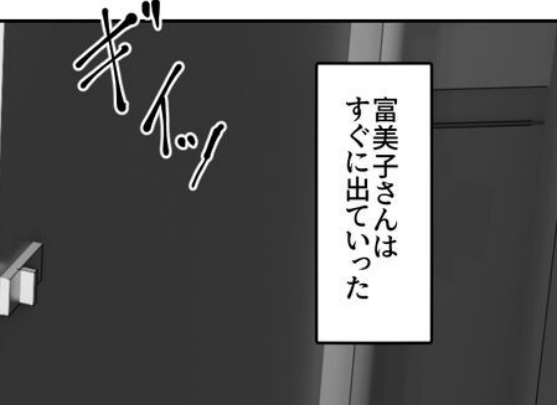
富美子さんは  
にがい大便をする



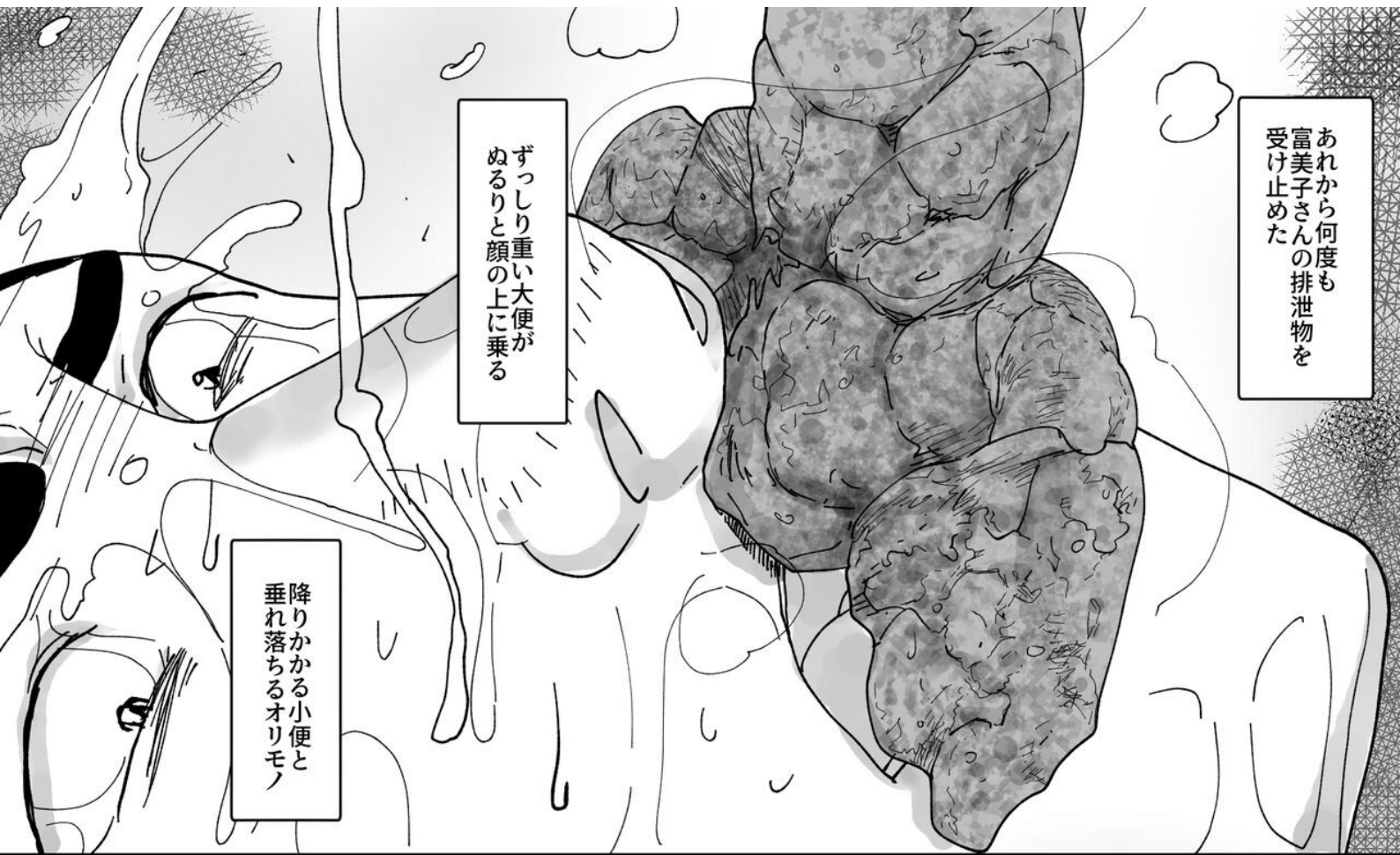
苦……!



私の口の中に  
排便のあかしを  
残したまま



富美子さんは  
すぐに出ていった



あれから何度も  
富美子さんの排泄物を  
受け止めた

ずっしり重い大便が  
ぬるりと顔の上に乗る

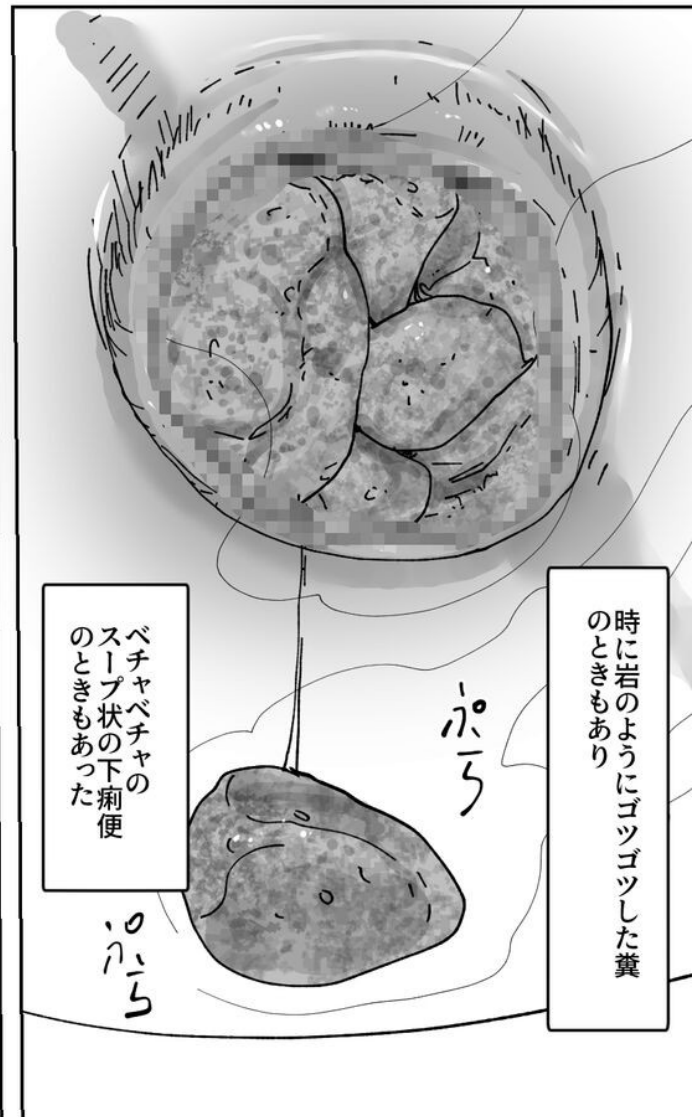
降りかかる小便と  
垂れ落ちるオリモノ



一年ほどして  
富美子さんは結婚し  
屋敷からいなくなった

今でも思い出すのは  
その愛らしい笑顔と  
性器の形

黄色い小便の匂いと  
大便の感触だ



時に岩のようにゴツゴツした糞  
のときもあり

ベチャベチャの  
スープ状の下痢便  
のときもあった

ゴッ

ポウ